

令和元年第10回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和元年9月27日(金) 午後1時30分～
開催場所 恵那市役所 西庁舎4A会議室
出席委員 教 育 長 大 畑 雅 幸
教育長職務代理者 村 松 訓 子
委 員 鎌 田 基 予 子
委 員 樋 田 千 史
委 員 西 尾 修 欣

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 安 藤 一 博
事務局長 加 藤 真 治
教育総務課長 西 尾 克 子
教育総務課総務係長 古 屋 恵 子

議 題

報告事項

- 報第 1号 平成30年度恵那市総合計画施策別点検及び評価について
- 報第 2号 恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する規則の一部改正について
- 報第 3号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について
- 報第 4号 恵那市の園小中学校のトピック(10月)について
- 報第 5号 恵那市中央図書館月別利用状況
- 報第 6号 中山道広重美術館月別観覧者数
- 報第 7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
- 報第 8号 その他

開 会 (午後1時30分)

1 会議録の承認

令和元年恵那市教育委員会第9回定例会会議録の承認がされました。

2 教育長の報告

教育長 9月議会の一般質問では、6名の議員から質問をいただきました。
順に、保育料の無償化に関連するもの、通学路の安全対策、いじめ問題に対する恵那市の現状についての質問です。
また本年度から全国学力状況調査は、教育委員会や学校で生かせるようにと、例年より1カ月早く国から結果・分析が届きました。既に発表されているため、

恵那市の現状についての質問がありました。今までの全国学力状況調査は、A問題、B問題、基本と応用という形で国語、算数、数学があり、3年に1度理科があるということで、ことしは理科がない年でした。

また今回から、国語、算数、数学についてはA、B問題がなくなり、1本で出題され、分析されています。あと本年度から中学校は英語が加わりました。この英語については、理科と同様に3年ごとに実施されます。

恵那市の小学校については、国語、算数、いずれも全国平均より残念ながら数ポイント低いという傾向は変わっていません。中学校については、今まで全国平均を上回って来ていましたが、平均並みになってきました。

この調査は2007年から行われており、恵那市は生涯学習宣言をし、ここ数年、読書活動に力を入れています。

A問題の基本的な漢字の書き取りや、読み取りなどは余り勉強をしていないようで、平均並みでしたが、B問題の読み取りについては全般的に小学校も中学校も平均を上回っていました。読み取りについては、以前は自然と身に付いていた部分が今はそうでなくなっています。本来、恵那市の小中学校は全て朝活動の中で、原則読書の時間をつくって静かに本を読むことを行っていました。少し形骸化しているようですので、やるからにはしっかりやること。財政が厳しい中、他市と比較すると恵那市は図書費を多く付けてもらっていましたが、ここ最近はカットされています。そのようなこともあり、図書室で新しい本が、子供たちの目につかなくなっていることも影響しているかと思えます。

いずれにしても算数、数学を含め、勉強の量や質が低下しています。恵那市においても子供たちがびっくりしない程度に少しずつハードルを上げていくことが必要かと思えます。もう一つは基本的なことです。例えば漢字の書き取りが全国平均よりも10ポイント以上低い。ということは、理屈抜きで本気で覚える、練習する、いわゆるドリルをすることです。こういう部分をしっかりやらないと、ICTをいくら活用しても、基本的に自分で時間を作り、気持ちに向けて勉強していくということが必要ですので、今後、そういう点を各学校に指示していきたいと考えています。

それから、保育教諭の働く環境条件等について、またICT教育の恵那市の現状とこれから目指すことについての質問がありました。ICT教育については、どちらかというと教育委員会を応援してくださる形で質問をいただきました。このように9月議会が終わっていきそうですが、来年度に向けて少しずつ今、考えているところです。来年度は本格的にICT教育をやっていかなくてははいけません。特にことしは学校間格差が見えてきていますので、これの底上げを図り、行っていただけたところは、どんどん行ってもらい、行わないところがないようにしていく必要があります。

また小学校の英語が教科として本格実施されます。特に恵那市は学級担任のほとんどが若年の教員です。教員への指導助言をしっかりと行っていく必要があると思っています。もう一つはコミュニティスクールです。こちらも少し学校間格差が出てきていますので、その底上げを図るような対応をしていく必要

があると思っています。2学期が始まり、教育長訪問も始まっています。教育委員の皆さんには本当にお世話をお掛けしますが、よろしくお願いします。

あわせて、あしたが小学校の運動会のピークです。10月5日と12日土曜日はこども園の運動会のピークになります。委員の皆さんには無理をされないように、見に行っていただけだと思います。

3 教育委員の報告

委員 串原小中と北中の運動会に行きました。串原小中の9月14日はくもりで、本当に運動会日和でしたが、9月7日の北中はとても暑く、1週間前に北中は救急搬送があった中での体育大会だったので、先生方も慎重に進められていたと思いました。

どちらの学校も、地域の方々の参加が多かったです。北中では、地域の方との関わりということで、物産店をお昼の休みの時間を使って生徒たちが行っていました。子どもからお年寄り、車いすでも参加できる競技を準備していて、私も一緒に参加させてもらいました。短い取り組み期間の中で、いろいろ熱中症の騒動とかありましたが、生徒たちは本当に頑張って動いていて、すごいと思いました。

応援については、先日、串原の運動会で教育長さんもお話されていましたが、子供たちの選曲がとてもまじめでした。もっとダンスやよく耳にするような音楽を取り入れて盛り上がるように、新しくしていったらどうかと提案もいただきました。確かに古い曲をそのままずっと引き継いでいるので、そこはもう少し変えていく部分かとも思いました。

教育長訪問は、上矢作小中に行きました。人事懇にも同席し、お話を伺い感じたことは、学校運営がチームとして成立しているかどうかにかかってくるということでした。それと、先生もいろいろな方がみえますが、今の学校では元気いっぱい生き生きとしてみえるのは、管理職の先生方がそういう雰囲気をつくっているということがよく分かりました。自分のよさを生かして、生き生きとしている先生の姿を見ていると、チームとして学校運営が機能しているかどうかにかかっているのも、管理職の手腕かとも思いました。

また先生たちの雰囲気がいいと、子どももちろん表情もいいし、いい意味での連鎖反応ができていることを、人事懇に同席させていただき感じました。

委員 私は、明智中と、岩邑小の体育大会、運動会に行ってきました。明智中は初めてでしたが、本当に子どもが少なく寂しい体育大会だと、まず思っていました。明智中も赤と白それぞれ向かい合ってエールを送り合うという儀式があり、見ている側が恥ずかしくなってしまうような本当に古典的でしたが、生徒は誰一人恥ずかしいとか、ばかばかしいという子がおらず、みんな真面目にお互いにエールを送り合いすごいと感心しました。ちょうど恵那南高の教頭先生が来賓でみえて、そのエールの後、その先生も本当に中学生は純粋ですね、我々はやはりこの純粋な気持ちに答えていかなくてははいけませんねとってください、同じように感じられたのだと思いました。

また、教頭先生から、教育長さんが恵那南高校の存続のためにいろいろ積極的にお力をいただいているということで、お礼を言われました。

また明智中は駐車券もなく、途中で退席しようにも車を動かしてもらわないと車を出すことができなかつたので、配慮があればいいと思いました。

委員 体育祭は岩邑中と東中に行きました。岩邑中は子どもたちが楽しくやっていました。そばにいた来賓の方に聞いたら、校長先生が楽しくやろうと、そういうムードで生徒に接しているおかげで、本当に子どもたちは明るくて楽しそうとのことで、大変よかつたと思います。

東中は、ゴールにミストを設置しており、汗をかいているところにミストがかかって気持ちがいいと思いました。隣に大井小の校長先生がみえたので、ミストはどうですかと尋ねたら、大井小にもあり、5、6万円するとのことでした。子どもたちに配慮していると思いました。

共通して言えることは、種目が単調だということ。休憩はたくさんとっていたのでよかつたのですが、走る競技が多かつた。ただ子どもたちの一生懸命な姿がありました。練習する時間の関係もあるので、種目のある程度考えた方がいいかもしれません。

それから、明日飯地に行きます。飯地は、午前中で終了するということでした。自分は種目数が少ないということ、子供が少ないということ、暑いからだと理解していました。午前中に終わる学校もこれから増えてくるかもしれません。

もう一つ、飯地小学校の教育長訪問も行ってきました。そこで、私が話したのは1年から6年までありますが、複式でやっている授業は一つもありませんでした。要は同じ教室で、別々の授業をやっているだけで、本当に3年生の授業、4年生の授業という、そういう複式の授業というのが見られなかつたので少し話をしました。飯地は、複式になるのは決まっていますので、複式の授業はどうあるものかということをもう少し提案して、アピールしてほしいというような話をしてきました。

今後、飯地は飛び複式になる可能性があります。1と3、4と6など、そうになったときに同じ教室で勉強しているだけではいけないと思います。そこら辺はプロとして、どうやって複式を整理させていくか、そこらをもう少し実行してもらいたいと話をしておきました。

委員 2点、お話をしようと思っています。まず、体育祭です。上矢作と山岡の中学校に行ってきました。上矢作は10年前前から小中一緒に行っているそうです。初めてお邪魔しましたが、これがなかなか面白いという大変ですが、これもありかなという印象を受けました。小学生と中学生が一緒に、同じ競技を行うわけではないのですが、一緒に運動会、体育祭に参加する。一緒に参加しているところを見ると、やはり中学生は大人だと感じました。自分の出場種目が終わるとすぐ本部席に帰ってきて、係の仕事をする。これは別に小学生と一緒にだからということではなく、ほかの学校でもよくあることですが、一生懸命動いていた、やっていたということに感心しました。

子どもの数が減ってくると、運動会、体育祭が成立しづらくなってきたため、

合同になったとは思いますが、こういった運動会もありかなというふうに思います。中座をして、山岡中の体育祭にも行きました。先ほども休憩をとりながら競技しているという表現がありました。正直間延びをしていました。一つの種目が終わるとしばらく何も無い。何も無い時間帯を休憩時間だといえばそうですが、少し間延びしていると感じました。

校長先生と話をしましたが、今後、午前中ぐらいで終わるようなことも検討しなくてはいけないかもしれないという事でした。種目と種目の間で時間があるから、種目を増やそうとしても子どもの数が少ないため、出番が多くなりすぎてしまうということにもなりかねない。お弁当うんぬんということではなく、半日ぐらいで済ますことも検討をする必要があるかと言ってみえました。

その際に、保護者から評価された話が出ました。家庭訪問をやめたそうです。家庭訪問をせずに保護者に学校に来てもらい、話をする。後日、先生が家の場所だけは確認に回ったそうです。すごく評判が良かったということでした。家庭訪問のあるべき姿というのが、果たしてどうなのかということとはよく分かりませんが、いずれにしろ子どもの数が減ってきた、先生の負担も増える、保護者は仕事で忙しいという状況の中では、変わっていくことも必要だと思いました。

もう一点、山岡陶業文化センターという施設があります。市の施設ですが、そこに市では唯一三連の登り窯があります。きのう火入れ式がありました。この時期にしか登り窯を使わないため、陶業センターの生徒や、学校の児童生徒の作品を1年分まとめて登り窯で焼成しています。ことしは1,500点集まったそうです。作品を焼いて皆さんにお返しするという事です。職員の方と話をしたところ、もっと学校の児童生徒さんに参加してもらいたいという話でした。登り窯での焼成ではありませんが、恵南地区の小学校のほとんどと三郷小学校、大井第二小学校が陶業文化センターに焼成を依頼しているという話でした。

学校によっては、1年間の教科のスケジュールがあると思いますが、5月、6月ぐらいに作成すると、9月の登り窯に間に合うそうです。ところが、2学期になってから作り始めると間に合わないので、結局電気窯で焼くことになるという話でした。もちろん電気釜もあるので、焼くことはできるのですが、せっかく登り窯もあり、いい機会なので学校に職員が訪問して指導するのではなく、学校からぜひ施設に来てもらい、登り窯や目の前にある粘土の採掘場も見てもらえるといいのですが、と言ってみえました。

恵那市には、個人で窯を持っている美術の先生もみえますが、陶業文化センターもありますので、ぜひ利用してもらえるといいと感じました。

教育長 ありがとうございます。運動会、体育大会を中心に話をさせていただきました。目につくところ、苦になるところは皆さん一緒のような気がします。上矢作小の教育長訪問でも思いましたが、県教委の指導では小さい学校でも毎年教員の異動があるように、ないのは原則いけないということでした。恵那市は新規採

用あるいは1校目完了者、要は4年目の方が大半で、3年ですぐ異動になってしまいます。

恵那市の現状は、既に新卒2年目で生徒指導主事をやっている先生がいます。それぐらい人がいません。昔で言えば生徒指導主事は教務主任の次ぐらいの立場で、学校の中では幹部であり、いろいろ分かっている存在となります。分かっているということは、働きも当てにしていますが、これがなかなか難しい。年度末の2時間ぐらいの引き継ぎだけで、1年分を引き継げるはずがなく、引き継ぐべきことが、途切れてしまいます。人の回転が速いため、かつては6年、7年の教員が2、3人いましたので、時期が来たり、行事があったりすれば、アドバイスができていたのが、今ではアドバイスする人がいない状態です。外部に対しても同じで、運動会のような行事では、教頭が配慮しなくてはいけないことも抜けてしまって、駐車場の確保などもできていない状態です。

4 報告事項

教育長 それでは、日程の第6に入らせていただきます。

報告事項第1号 平成30年度恵那市総合計画施策別点検及び評価について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第1号 平成30年度恵那市総合計画施策別点検及び評価について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 中学校の再編検討ですが、D評価というのはなぜですか。計画通りの場合はCではないですか。

事務局長 目標がどこまでという明確な数値基準がない中での評価でした。市民の方から見ると何も進んでいないというご意見をいただいているのが現状です。ただ何もしていなかった訳ではなく、幅広い世代からの意見を聞くという課題解決のために、こども園、小中学校の保護者に対し、広聴会を開催するよう役員の方と調整をして進めており、新年度に入って全こども園、小中学校で開催しております。

委員 表には何も進んでいないと思われていますが、実際に内部では計画どおり進めていた訳ですので、C評価が適当であると思います。

教育長 ありがとうございます。C評価として教育行政評価委員会に提出させていただきます。

そのほかはよろしいでしょうか。

委員 成人式のときに記念品で図書カードを配られますが、どのように使われているのか追跡はしていませんか。子どもたちにもっと本を読みましよう、朝読書しましようという施策はいいのですが、実際に配布した図書カードがどう生かされているか、カード一枚一枚追跡することはできないと思いますが、何を購入したかのアンケートを取るなどはいかがですか。

事務局長 特に追跡しておりません。本以外に雑誌や関連商品を購入する方もいると思います。

委員 渡す側の思いと、受け取る側の思いとのギャップが大きいのは容易に想像がつかれます。こういった趣旨で図書カードを配っているかというアピールをしてもいいのかなと思います。

教育長 式典当日の進行は、実行委員会で行っているのですが、アナウンスしたり、メッセージを伝えたりすることはできると思います。

事務局長 報告事項第2号 恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する規則の一部改正について、説明をお願いします。

教育長 報告事項第2号 恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する規則の一部改正について、資料に基づき説明。

委員 ご質問、ご意見ありませんか。

委員 はい。

教育長 報告事項第3号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第3号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 まきがね体育館の駐車場が、豚コレラの拠点になった際、グラウンドが傷んだという話を聞いたのですが、今回改修する場所でしたか。

事務局長 違う場所です。豚コレラの拠点は西中学校の下のまきがね西グラウンドです。串原で豚コレラが発生した際は、山岡B&Gが拠点となり、グラウンドが駐車場になりました。終了後は、県が業者に依頼して整備してくれています。今回も豚コレラが発生し、山岡B&Gが拠点となったため、グラウンドは荒れてしまったかと思いますが、作業終了後、整備してくれていると思います。

委員 まきがね公園も県が整備してくれたということですか。

教育長 そうです。

委員 1番です。エアコンが入って大変よかったです。ぜいたくな話ですが、教室と廊下の温度差が激しい。教室は涼しいが、教室から出るとむっとする。ましてや外から入ったときも逆です。大丈夫かと心配していますが、設定どおりになっていますか。先日、飯地に行ったときに感じましたが、子どもたちが何ともしなければいいのですが。

副教育長 7番、ICTのタブレットの補充ですが、今後増やす予定はありますか。

委員 増やします。

委員 それなら良かったです。飯地に行ったとき、地域の力を借りて、タブレットを1人1台にするという話がありました。余力があればいいと思いますが、市のほうで補充できればいいですね。

事務局長 次に18番です。スピードスケートの大会が控えています、本年度開催する大会は、小学生は観戦に参加しますか。

事務局長 12月6日から8日の3日間開催されるジャパンカップ第3戦が、国体のリハーサル大会としております。6日の金曜日は、授業で観戦したい学校は希望をとっております。小学校も中学校も観戦したいといっている学校があります。

7日、8日については、土日になりますので、中学生ボランティアを募集しています。東中と西中で今何人かの生徒が手を挙げてくれています。小学生はボランティアの対象外です。

委員 6日は希望する学校だけですか。

事務局長 希望する学校のみです。来年の国体本番は、全学校に動員をお願いします。平成24年の国体の時も、土日も含めて交代でどこかの小中学校が観戦しています。

委員 前回のぼり旗をつくった気がします。

事務局長 今回ものぼり旗などを作成して、観戦してもらう予定です。

委員 20番、スケート場ですが、台風のため大打撃を受けたと書いてありますが、これは金銭的に赤字ということですか。

事務局長 入場者数が減ったということです。例えば武並町の夏祭りが中止にはなりましたが、これは地域との連携という形で場所を無料で提供している事業で、収益事業ではありません。毎年1,500人ぐらいの参加者がいますが、今年は入場者数として、大打撃を得たということです。

教育長 では、報告事項第4号 恵那市の園小中学校のトピック（10月）について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第4号 恵那市の園小中学校のトピック（10月）について、資料に基づき説明。

委員 10月、11月、就学时健康診断が入ってきています。就学时健康診断と就学时健診の二通りで書いてありますが、何か意図がありますか。

副教育長 ないと思います。

委員 学校から送ってきたものをそのまま書いているのですか。

副教育長 はい。4月の教頭会でも話をしましたが、就学时健診など小さな行事を載せて、記者が取材に来たらどうするのかという話をしました。

委員 内容も丁寧に書いてあるところもあるし、事務局で編集してもいいのではないのですか。せめてタイトルは同じにした方がいいと思います。

副教育長 一応、研究所の担当が編集していますが、抜けがいっぱいあり、申し訳ありません。以前は、こちらで削っていたと話をしますが、そこまでできていないようです。

委員 取材に来てほしい行事は、直接投げ込みをしていますか。

副教育長 はい。

委員 行事活動名ぐらいは、何か違うのかとならないように、同じようにそろえた方がいいと思います。

委員 今も話に出た投げ込みですが、各学校で行いますか。

教育長 はい。

副教育長 学校独自で行っています。

委員 投げ込みをするぐらい思い入れがある行事ならいいと思います。

8日に西中でクラシック音楽感謝会、9日に大井第二小学校、10日に山岡中で志の教育。同じ新日本フィルハーモニーのビオラ奏者とあります。同じ方が

3日間、恵那に滞在して、3つの学校を回るということですか。

事務局長 恵那文化センターで開催される新日本フィルハーモニー交響楽団のクラシック鑑賞会のメンバーが、地元のこどもとの交流活動ということで、交替でいくつかの学校を訪問しております。

教育長 では、報告事項第5号から第7号、各施設の入場者数の報告をお願いします。

事務局長 報告事項第5号から第7号、各施設の入場者数等について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はいかがですか。

委員 図書館の利用状況の報告に、市内小中学校の貸し出しがゼロになっています。夏休みだからとだとは思いますが、去年は700冊も出ています。何故ですか。

事務局長 確認しておきます。

教育長 報告事項第8号 10月の行事予定について説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第8号 10月の行事予定について、資料に基づき説明。

教育長 何かご質問はありませんか。

委員 11月8日の研究総会ですが、何かお手伝いすることはありますか。

教育総務課長 出席していただくだけで大丈夫です。今年から分科会に分かれて教育委員さん方と教育長さんで、グループごとに情報交換していただく場があります。10時に開会ですので、9時半ぐらいに集合していただくことになると思います。県から案内が届き次第、教育委員の皆さんにも案内を送らせていただきます。

教育長 ご質問はよろしいですか。最後に8月の後援申請一覧がありますので、目を通しておいてください。その他よろしいですか。

委員 はい。

教育長 次回教育委員会の日程確認。

第10回教育委員会定例会を閉会します。

午後3時40分閉会を宣言します。

令和元年9月27日

教育委員 樋田 千史

教育委員 西尾 修欣